

秋まき小麦

秋まき小麦の収量増加に

5月中旬～6月下旬にかけての3回散布が推奨です

◎500倍～1,000倍を3回散布することで一定の増収が確認されました。

◎5月中に1回目の散布を行う方が効果が高まりやすいという結果になりました。

収量調査結果

開花後散布(1回目の散布が6月)

- 試験年:2023～2024年
- 作物:秋まき小麦
- 試験数:4
- 使用倍率:500～1000倍
(500倍でを使用した人は1人のみ)
- 使用回数:3回(平均)
処理日① 6月8日(平均)
処理日② 6月14日(平均)
処理日③ 6月25日(平均)

早期散布(1回目の散布が5月)

- 試験年:2025年
- 作物:秋まき小麦
- 試験数:4
- 使用倍率:500～1000倍
(500倍でを使用した人は1人のみ)
- 使用回数:3回(平均)
処理日① 5月19日(平均)
処理日② 6月5日(平均)
処理日③ 6月14日(平均)

